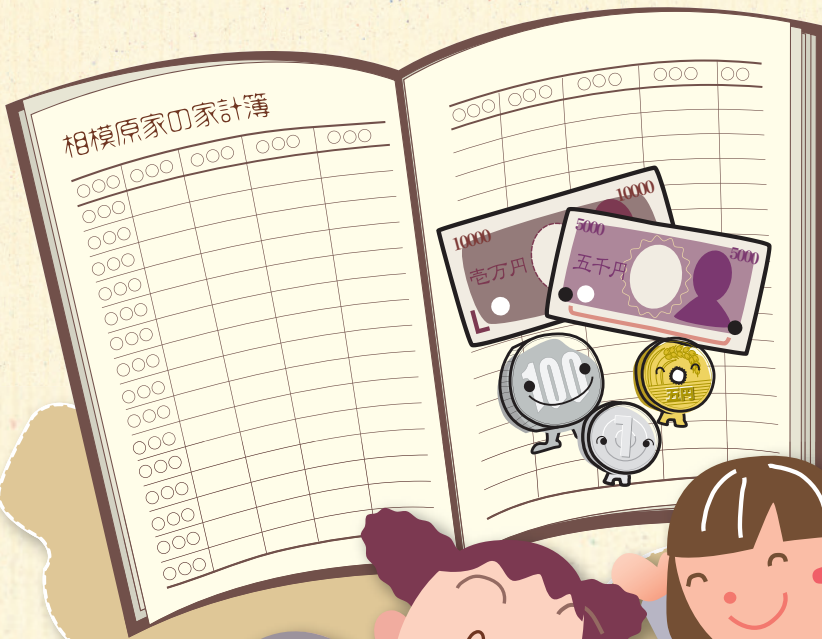


平成24年度

こと はじめ

# 予算事始め

さがみはらの予算をわかりやすく解説します



## contents

### P2 予算の基礎知識

- ・予算って何!?
- ・予算ってどうやって決めるの?
- ・補正予算って何?

### P4 歳入(1年間の市の収入)

### P6 歳出(1年間の市の支出)

### P8 平成24年度の主な取り組み

### P10 相模原市財政状況

### P13 健全財政に向けた主な取り組み

### P14 宝くじ情報と寄附金制度のご案内



潤水都市 さがみはら

相模原市



# 予算の 基礎知識



それではまずはじめに、  
基本的な疑問にお答えしましょう。  
予算とはどういうものなのでしょう？

## 予算って何？

まずはじめに「予算」についてです。

市役所では福祉、教育、ごみ処理、消防、道路の整備など、様々な仕事をしています。どんな仕事にお金を使うのかあらかじめ決めておく必要があります。そこで、1年間に市役所に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内でその使いみち(支出)を計画したものが予算になります。

予算(収入と支出の計画)

収入(歳入)

・市税  
・使用料  
・国庫補助金  
など

支出(歳出)

・福祉  
・教育  
・消防  
など

## 予算ってどうやって決めるの？

皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、そして、そのためにどのくらいのお金が必要なのかなどを検討し、予算の案を作成します。

できあがった予算案は、皆さんが選挙で選んだ市議会議員で構成される市議会に提出され、内容の審査を経た後に、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。

たとえば家庭では・・・



## 補正予算って何？

4月1日から翌年3月31日までの1年間に必要とされる予算は、「当初予算」として、年度が始まる直前の3月議会で決まります。しかし、年度の途中で、状況の変化や新しい事態が発生した場合には、変化に対応するため「当初予算」に変更を加える必要があります。これが「補正予算」です。

「補正予算」は必要に応じて何度でも編成することができますが、「当初予算」と同じように、市議会に提出され、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。

# 相模原市の予算はどのくらい？

平成24年度  
一般会計予算額  
**2,483**億円

平成24年度  
特別会計予算額  
**1,765**億円

※10の特別会計の合計額(億円未満を四捨五入)

## 平成24年度一般会計予算額と人口の主な政令指定都市との比較

大阪市(約267万人)	1兆5,163億円
横浜市(約369万人)	1兆4,097億円
名古屋市(約226万人)	1兆 288億円
⋮	⋮
浜松市(約 80万人)	2,692億円
岡山市(約 71万人)	2,553億円
<b>相模原市(約 72万人)</b>	<b>2,483億円</b>

政令指定都市の中では、最も少ない予算規模です。

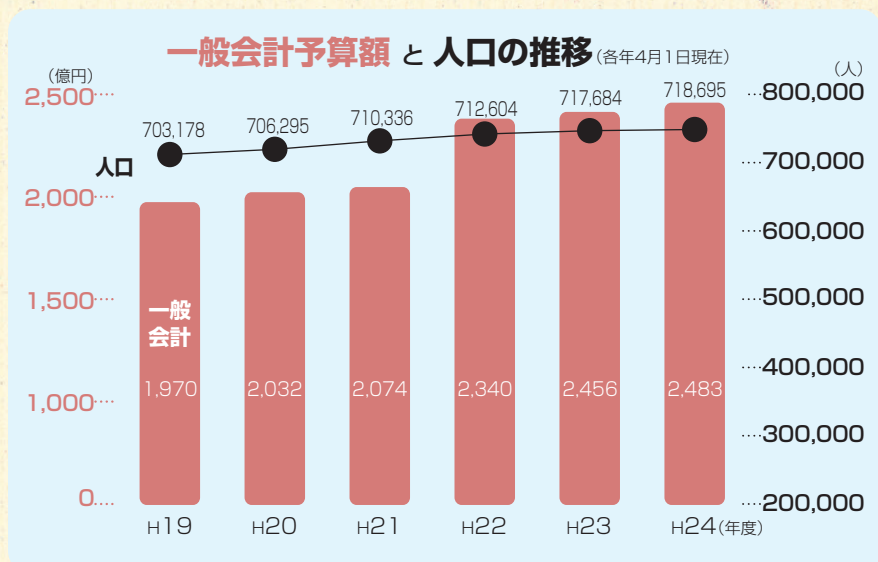
※人口は万人未満、予算額は億円未満を四捨五入。

※人口は平成24年4月1日現在推計人口。

右のグラフは、過去5年間の一般会計予算額と人口の推移です。

予算額も人口も年々増加しており、平成24年度の予算は、1.1%の増となっています。

※平成23年度は、骨格予算(2,338億円)として編成しているため、当初予算で計上しなかった子ども手当などの補正予算を含めた実質的な予算相当額との比較になります。



## 『会計』のしくみ

市では、福祉・教育・道路整備などさまざまな事業を行っており、これらは、「一般会計」としてお金の管理をしています。特定の収入(国民健康保険税、下水道使用料、介護保険料など)があるものについては、お金の出し入れをわかりやすくするため、お財布を分けて管理しています。

これらのお財布を「特別会計」とよび、相模原市には、右に示すように10の特別会計があります。



# 歳入

1年間の市の収入



まずは、市の収入である歳入についてご説明します。

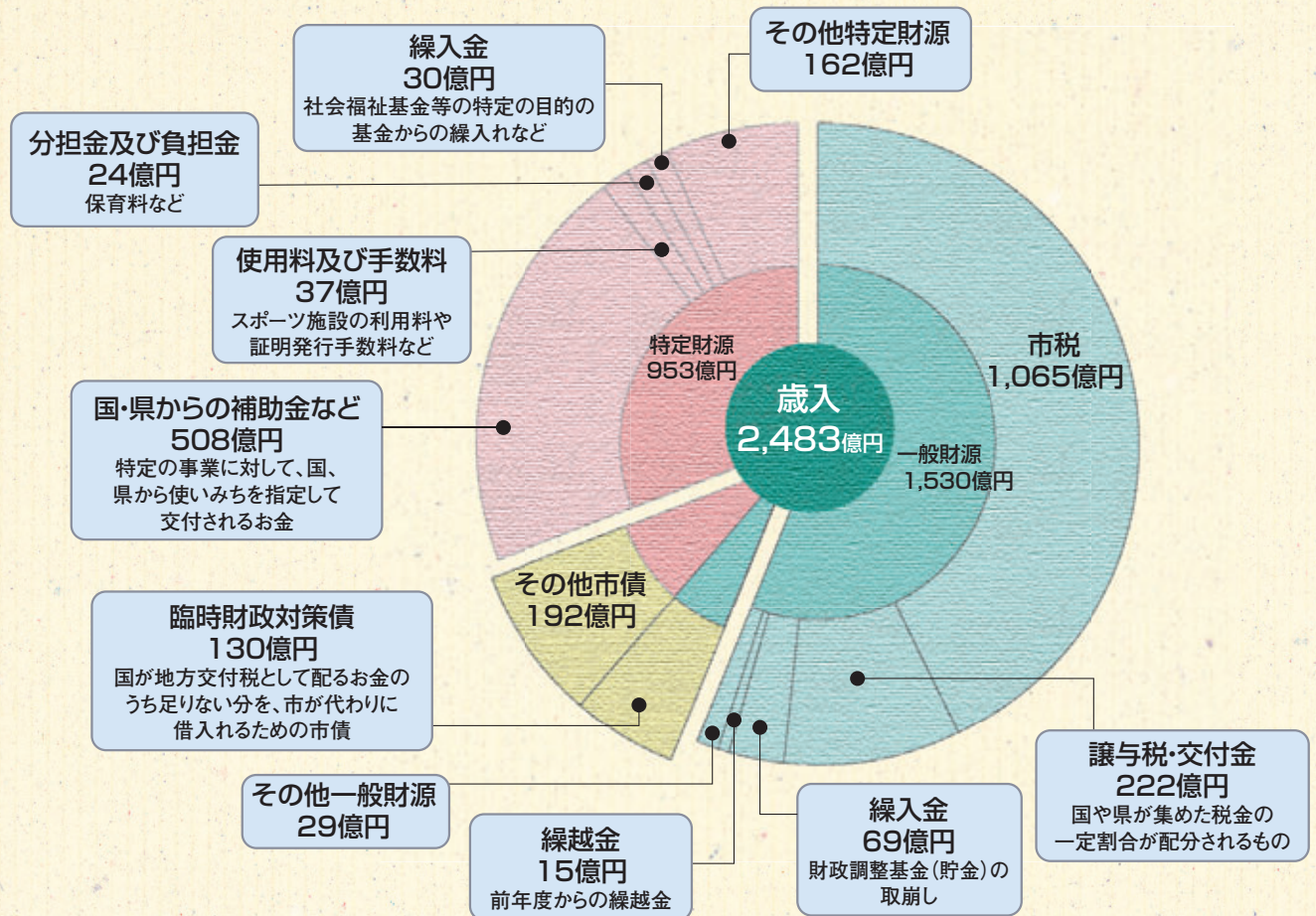
## 市の収入にはどんなものがあるの？

相模原市の収入（歳入）のうち、もっとも大きな割合を占めているのが『市税』です。

このほか、国や県から配られるお金や借入金（市債）など、さまざまなものがあります。

収入は、使いみちが自由な「一般財源」と、使いみちが決められている「特定財源」に分けられます。

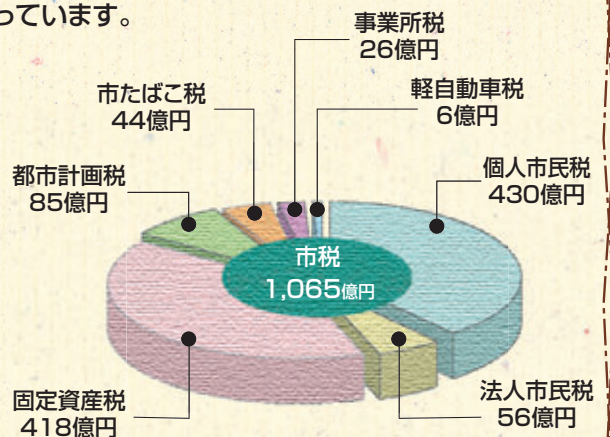
市がさまざまな市民ニーズに対応して事業を行っていくためには、一般財源の確保がとても重要になります。



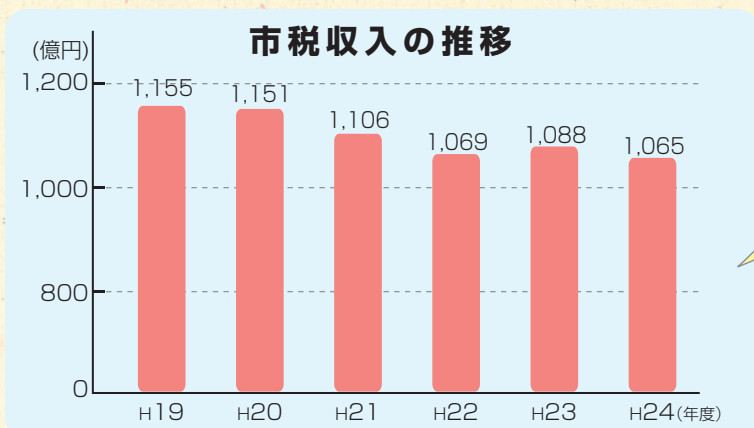
### 市税の内訳

市税は収入全体の約43%となっています。主な内訳は次のとおりです。

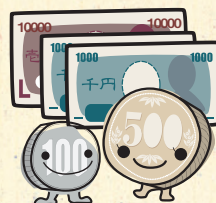
市税は、市役所の収入（歳入）の約43%を占めており、その内訳は、市内にお住まいの方や市内にある会社などから納めていただく「市民税」と土地や建物などをお持ちの方に納めていただく「固定資産税」が多くを占めています。他の政令指定都市と比べると、市税全体に占める「個人市民税」の割合が高く、「法人市民税」の割合が低くなっているのが特徴です。



# 市税は増えているの？ 減っているの？



市民一人あたりでは  
約15万円です  
平成23年度 約15万2千円  
平成24年度 約14万8千円



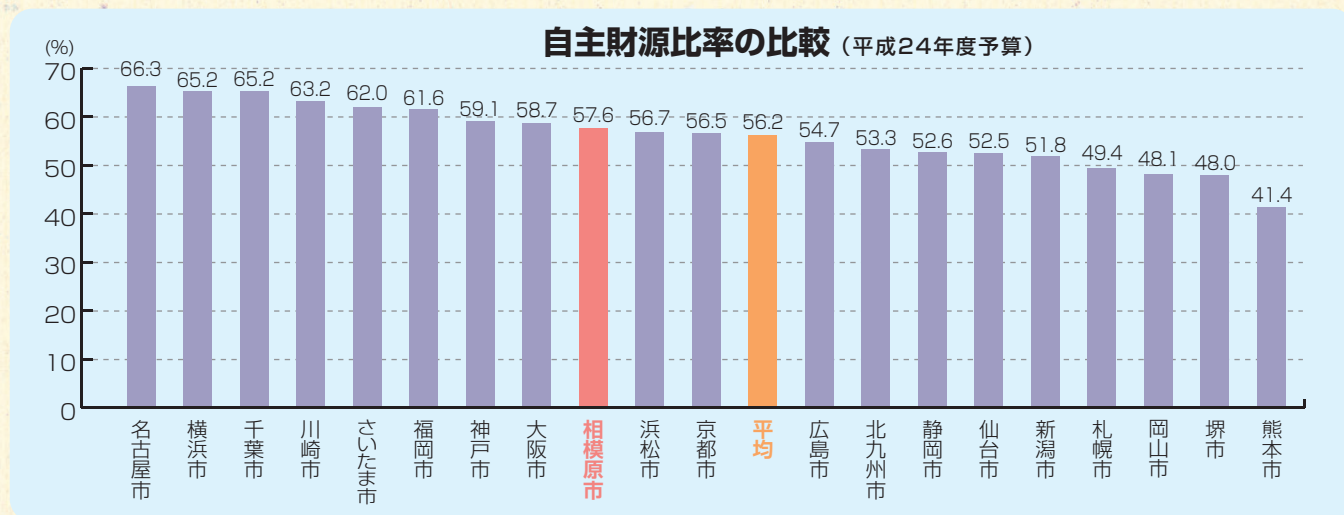
※平成19～22年度は決算額、23・24年度は当初予算額で示しています。  
※市民一人あたりは、各年4月1日現在の推計人口から算出しています。

相模原市の歳入でもっとも大きな割合を占める市税は、法人市民税や固定資産税の減収などにより、前年度と比べ23億円の減収となる見込みです。

## 国と地方の関係

財政的に自立しているのかを示す指標に、「自主財源比率」という指標があります。国や都道府県からの補助金は、「依存財源」の代表選手ですが、これに対して市税や使用料などのように市役所が自ら収入するものを「自主財源」といい、収入全体に占める自主財源の割合を「自主財源比率」といいます。

相模原市の「自主財源比率」は、「57.6%」であり、他の政令指定都市と比べて、平均よりも高い比率となっています。



一般的に政令指定都市は他の市町村と比較し、人口や会社が多いため、歳入に占める市税収入の割合が高く、「自主財源比率」が高い傾向にあります。相模原市も高い数値となっていますが、そんな相模原市でも、残りの42.4%は国や県などに依存していることになり、国の制度や補助金などの影響を受けていることとなります。

現在、「社会保障と税の一体改革」について、国会でも議論されていますが、このような国における制度の見直しによって、市の予算も大きな影響を受けることとなります。

# 歳 出

1年間の市の支出

歳出は、使いみちや目的によってさまざまな見方をすることができますが、ここでは『目的別経費』と『性質別経費』という2つの分類方法で説明します。

## 目的別経費とは…

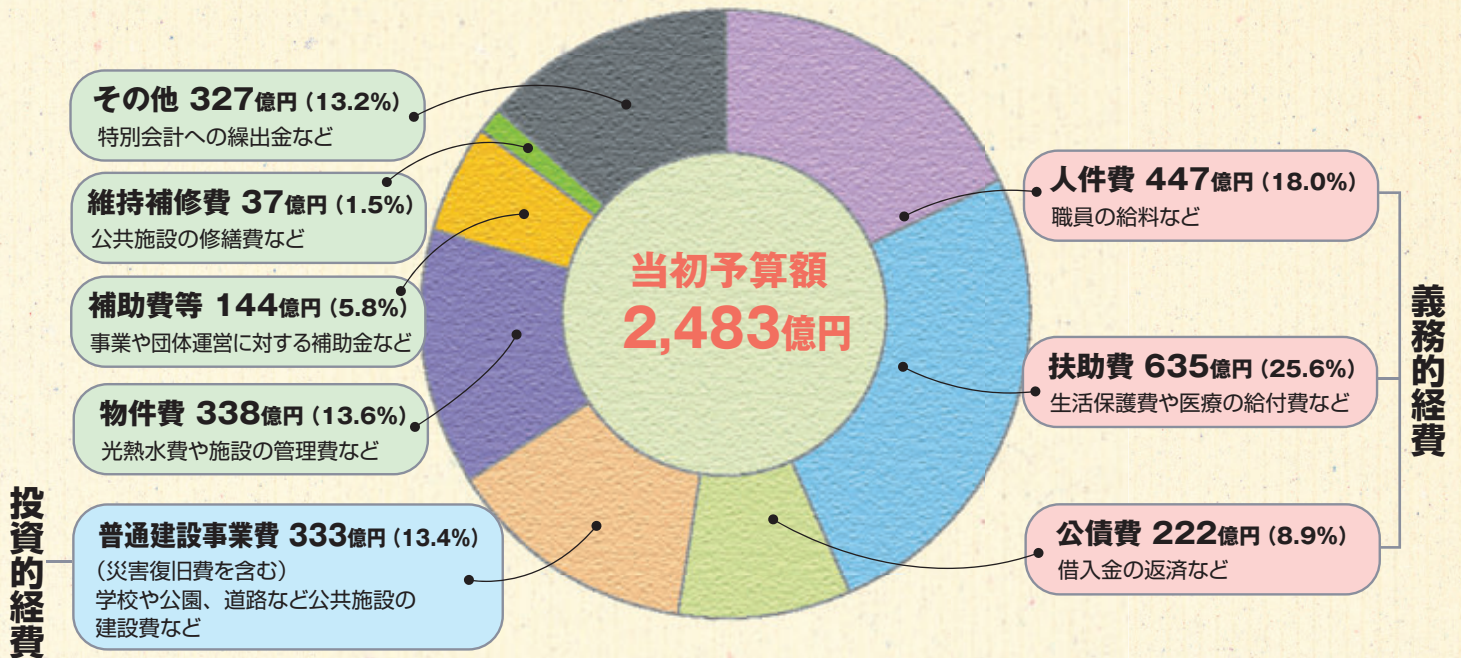
歳出をサービスの目的で分類したもので、「民生費」(福祉や子育て支援などの経費)、「衛生費」(保健所の運営、ごみ処理などの経費)、「教育費」(学校教育や生涯学習などの経費)などに分けられます。市民一人あたりの予算額は約35万円で、このうち「民生費」が約14万円となっており、全体の約40%を占めています。

目的別経費	当初予算額 (百万円)	一人あたりの 予算額(円)※	構成比 (%)
議会費 (議会運営などに要する経費)	1,070	1,489	0.4
総務費 (市役所の管理運営、広報、防災活動などに要する経費)	25,662	35,706	10.3
民生費 (子育て支援や高齢者・障害者福祉、医療などに要する経費)	99,036	137,800	39.9
衛生費 (健康の推進、ごみ処理、環境保全などに要する経費)	19,574	27,235	7.9
労働費 (勤労者福祉対策などに要する経費)	1,218	1,695	0.5
農林水産費 (農業振興や林道の整備などに要する経費)	940	1,308	0.4
商工費 (商工業や観光の振興などに要する経費)	15,968	22,218	6.4
土木費 (道路、下水、公園、河川などに要する経費)	35,528	49,434	14.3
消防費 (消防や救急活動などに要する経費)	7,900	10,992	3.2
教育費 (学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに要する経費)	18,118	25,210	7.3
公債費 (借金の返済などに要する経費)	22,286	31,009	9.0
その他	1,000	1,391	0.4
合 計	248,300	345,487	100.0

※一人あたりの予算額(円)は、平成24年4月1日現在の推計人口から算出しています。

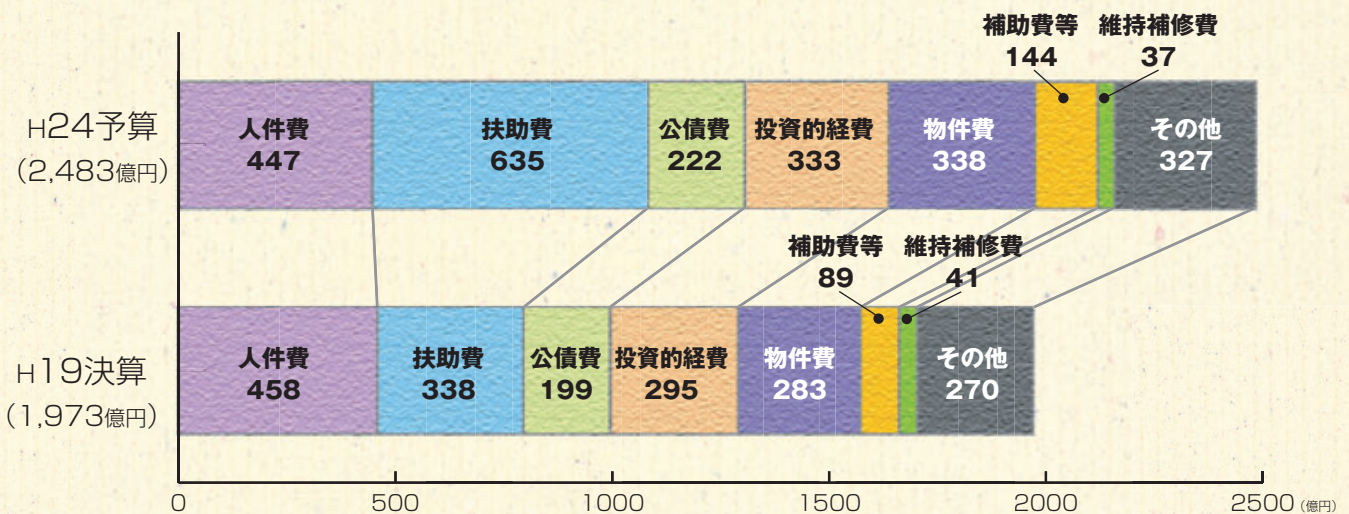
# 性質別経費とは…

歳出を経費の性質に着目して分類したもので、「人件費（人にかかる経費）」「普通建設事業費（建物など将来への投資となる経費）」などに分けられます。



歳出のうち、任意に削減することのできない経費（人件費・扶助費・公債費）のことを『義務的経費』といいます。扶助費については高齢化や医療費の増大などにより年々増加していますが、人件費と公債費については削減に努めるなど、義務的経費の割合を低くするための取り組みを進めています。

## 性質別経費の比較



性質別経費について、5年前と比べると、歳出全体も約510億円大きくなっており、各性質とも増加傾向ですが、そのうち扶助費が約300億円も増加していることがわかります。一方、人件費については、約10億円減少しています。

# 平成24年度の 主な取り組み

それでは、平成24年度の一般会計予算の中身についてご説明します。

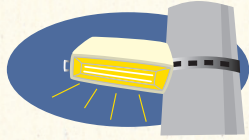
## ☆安全で安心して暮らせるまちづくり

約43億円

### ●防災対策

21億2,881万円

- 防災対策の推進
- 原子力発電所の事故への対応
- 災害に強いまちづくり
- 消防・救急体制の充実



### ●基地対策

2,063万円

- 早期利用・返還、騒音などの課題解消に向けた取り組み

### ●暮らしにおける安全の確保

21億5,622万円

- 防犯灯の設置
- 防犯活動団体への支援
- 暴力団排除条例に基づく取り組みの推進
- 自転車交通安全対策に向けた取り組み
- 配偶者等からの暴力(DV)の防止・被害者の保護
- 高齢者福祉
- 健康増進
- 生活環境の向上
- 障害者福祉
- 医療体制の拡充
- 自殺総合対策



## ☆夢と希望があふれる次世代をはぐくむ環境づくり

約55億円

### ●子育てを支える環境づくり

17億2,586万円

- 保育所の待機児童解消に向けた取り組み
  - ・認可保育園の整備促進
  - ・認定保育室への補助、家庭的保育事業の実施
- 放課後の子どもたちの安全な居場所づくり
  - ・放課後子ども教室事業の実施、児童クラブ施設整備
- 安心して育児ができる環境づくり
  - ・子育て短期支援事業
  - ・こんには赤ちゃん事業



### ●「生きる力」をはぐくむ 学校教育の推進

37億9,486万円

- 体験学習の推進
- 少人数指導や支援教育学習指導補助員等によるきめ細かな指導
- 校舎等の改修、給食室の整備、学校給食センターの整備  
(平成23年度3月補正予算により編成したものを含む。)
- 教職員の人材養成・確保
- 青少年・教育相談事業

## ☆にぎわいと活力に満ちた都市づくり

約348億円

### ●交通ネットワークの充実

107億2,914万円

- リニア中央新幹線の建設促進
- 小田急多摩線の延伸に向けた取り組み
- 広域交流拠点のまちづくりに向けた取り組み
- 広域的な道路ネットワークの整備
- 広域幹線道路の整備
- 都市計画道路の整備



### ●にぎわいのある市街地づくり

86億5,525万円

- 中心市街地における商業振興の促進
- 相模原駅周辺地区のまちづくり
- 相模大野駅周辺地区のまちづくり
- 小田急相模原駅周辺地区のまちづくり





# ☆身近な暮らしの中から自然と地球を考える社会づくり 約20億円

## ●地球温暖化対策

1億8,435万円

- 地球温暖化対策実行計画の推進
- ・地域協議会の設立や条例の制定など  
市民、事業者等との協働による取り組み
- ・メガソーラーの導入に向けた取り組み
- ・再生可能エネルギー等利用設備の普及促進
- ・次世代クリーンエネルギー自動車の普及促進



## ●環境の保全

8,310万円

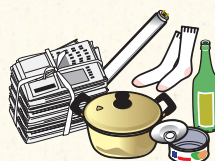
- 環境影響評価制度の導入
- 里地里山の保全活動に対する支援
- 相模川ふれあい科学館の再整備



## ●ごみの減量化・資源化の取り組み

17億6,327万円

- ごみの減量化・資源化の推進
- ・一般廃棄物処理基本計画の改定
- ・ごみの減量化、資源化のさらなる普及に向けた啓発
- 清掃施設等の再整備
- ・津久井クリーンセンターし尿処理施設の建替整備



# ☆市民が主役の郷土づくり 約10億円

## ●市民協働の推進と 市民自治に根ざしたまちづくり

7億2,233万円

- 区制を生かしたまちづくりの推進
- 市民協働の推進
- 市民活動の支援
- (仮称)自治基本条例の制定に向けた啓発活動

## ●心豊かに生活できる地域づくり

2億7,409万円

- 文化振興によるまちづくり
- 平和と人権尊重、男女共同参画の推進
- 多文化共生のまちづくり
- スポーツ振興によるまちづくり

## ●シティセールスの取り組み

3,289万円

- シティセールス推進事業
- ・「宇宙」と「桜」をイメージしたブランド  
イメージづくりの先行事業の実施



## ●産業を中心とする新たな拠点づくり

5億8,064万円

- 新たな拠点づくりの促進
- ・当麻地区土地区画整理事業、  
麻溝台・新磯野地区整備事業、川尻大島界土地区画  
整理事業の促進及び推進
- ・金原・串川地区の基本構想  
実現化に向けた調査検討



## ●地域経済の活性化

148億8,471万円

- 雇用対策
- ・ものづくり人材確保・育成事業、  
ハローワークと連携した就労支援
- 企業支援
- ・トライアル発注認定制度
- ・新技術実用化コンソーシアム形成支援事業
- ・企業立地奨励措置、中小企業融資制度、  
産業を担う人材の育成

# 相模原市財政状況

相模原市の財政の現状や課題について説明します。

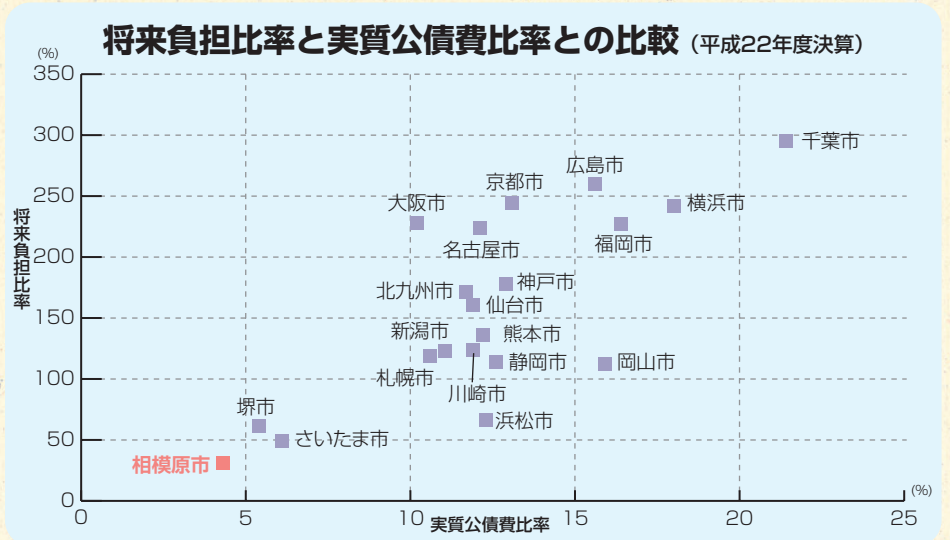
## Q.市の財政状況は?

### 健全化判断比率

将来負担比率は、借金や買取りを約束している土地代など既に将来支払うことが決まっている金額などを含めた事実上の総負債額が1年間の収入総額に対するどのくらいの割合かを示したもので、数字が小さいほど、将来の負担が少ないということです。国の基準で一定以上(将来負担比率が400%以上)になった場合は借金削減の計画をたてなければなりません。

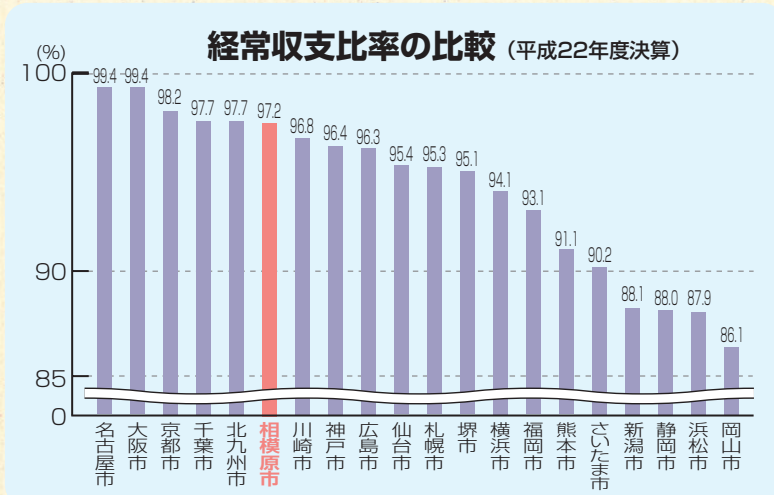
実質公債費比率は、収入に対する公債費(借金の返済費用)の占める割合で、数字が小さいほど、借金が少ないということで、一定基準(25%以上)を上回ると市債の発行が制限されます。

相模原市は、いずれの比率も政令指定都市の中で最も数値が低く、健全財政を維持しているといえます。

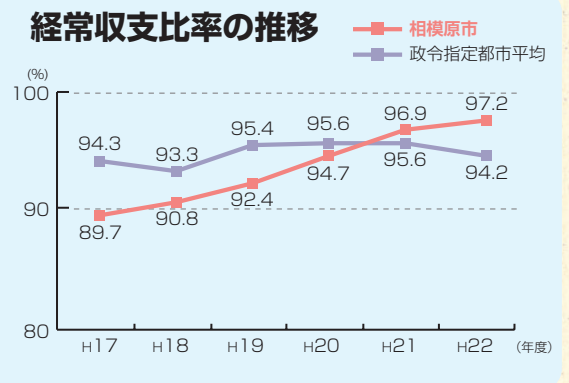


### 経常収支比率

経常収支比率は、市税など常に見込める収入と、公債費など常に支払う必要がある支出を比べたもので、この割合が低ければ、それだけ新しい仕事にお金を振り向けることができます。



### 経常収支比率の推移



相模原市は、政令指定都市の中でも比率が高く、年々数値が上がっており、「財政の硬直化」が進んでいます。硬直化が進むと新しい仕事を我慢する必要がでてきたり、急にお金が必要となった場合に対応しづらくなったりします。

## Q.外部評価は？

相模原市債は、第三者機関から財政状況などに基づく格付け（ランク付け）を受けています。（格付機関：スタンダード&プアーズ）

相模原市は20段階中4番目の「AA-（ダブルエー・マイナス）」で、国、東京都、横浜市などと同格の非常に高い評価を得ています。

格付け	地方公共団体等(平成24年6月末現在)
AA-	日本国 東京都 <b>相模原市</b> 愛知県 横浜市 新潟市 大阪市
A+	京都市 千葉市

格付け アウトルック  
AA- / ネガティブ

※地方公共団体は、国を超える格付けとなることはありません。現在、相模原市は国と同位で市として取り得る最高の格付けとなっています。

### 評価のポイント

- 借金の額が小さいこと
- 安定した税収が見込まれること
- 厳しい自主ルールなどにより財政運営を行っていること

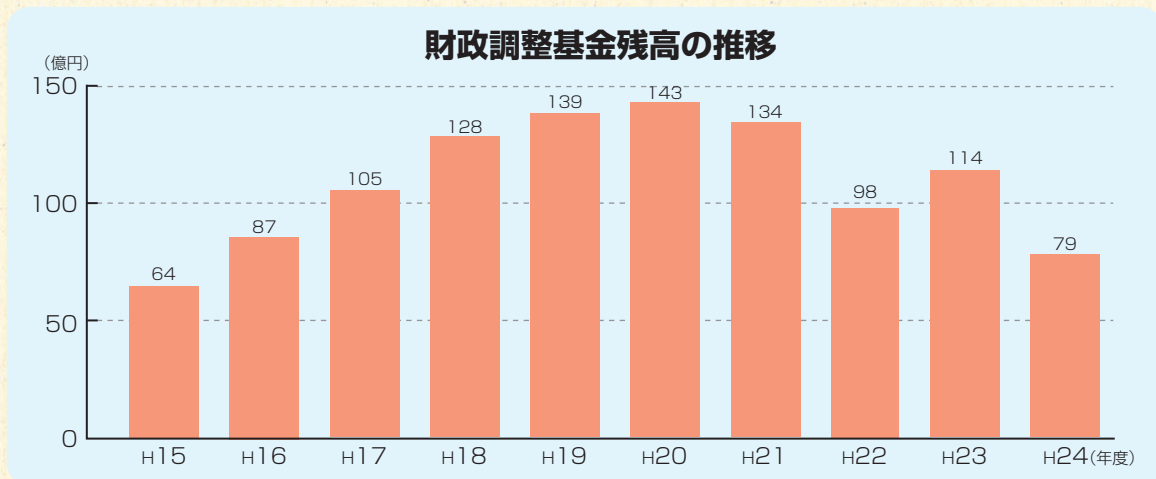


## Q.市の貯金や借金はどうなっているの？

### 財政調整基金（市の貯金）

急にお金が必要になったり、収入が落ち込んだりしたときに対応できるよう、市でも貯金をしています。これを財政調整基金と呼んでいます。

相模原市では、前年度に支出を切りつめて余裕が出たお金の半分以上を積み立てることをルールとして、積み立てを行ってきましたが、平成21年度からは、残高が減少しています。平成23年度については、取崩しの圧縮に努めたことにより、約114億円の残高となる見込です。

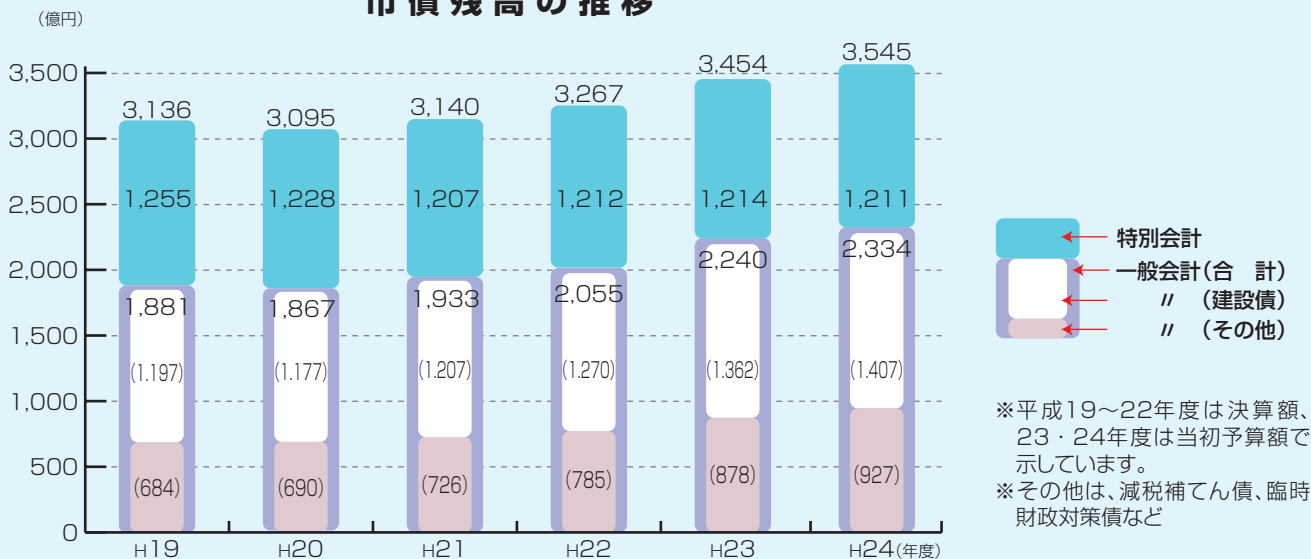


※平成15～22年度は決算額、23・24年度は決算見込額

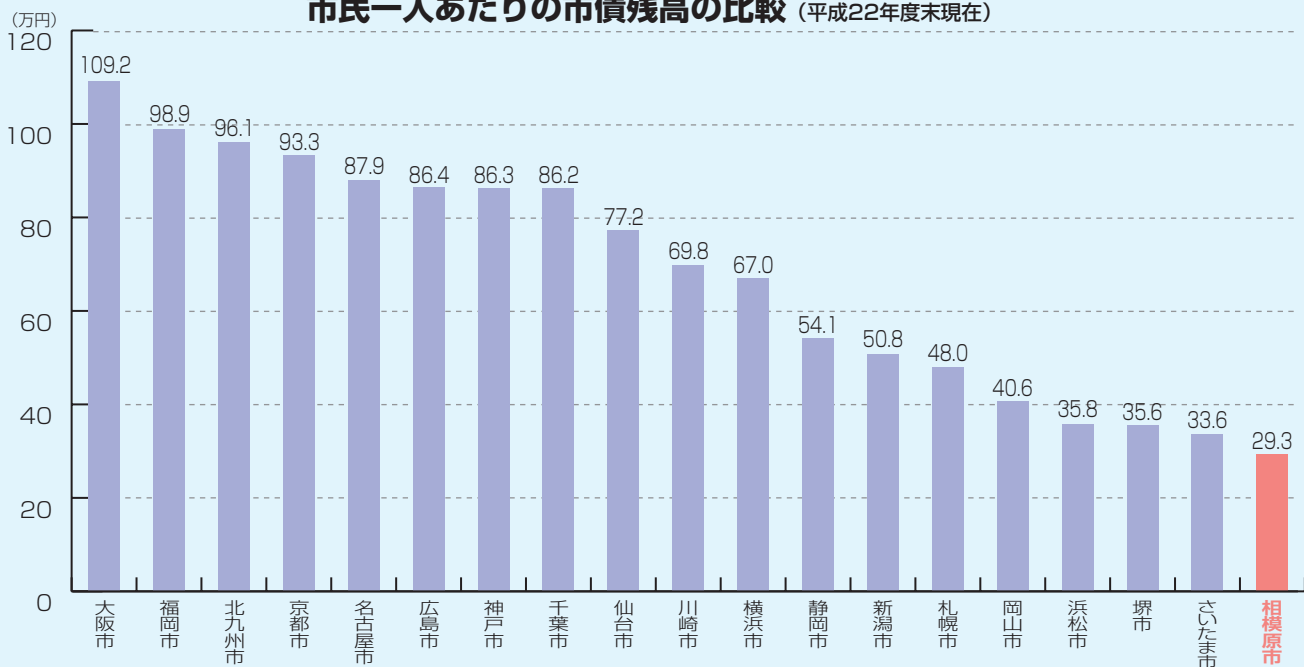
## 市債 (市の借金)

市債は借金ですから、無いほうが良いと考えるのがあたりまえです。でも、公園や道路などの整備に必要なお金を1年間の予算でまかなってしまったら、その年は他の仕事が出来なくなってしまいます。それに公園や道路はこれから長い間、たくさんの人が利用する施設ですから、将来の市民の方にも平等に費用を負担していただくことも、市債を発行する理由の1つです。ただし、借入れが多くなればなるほど返済が大変になりますので、相模原市は計画的な市債の発行に努めています。

### 市債残高の推移



### 市民一人あたりの市債残高の比較 (平成22年度末現在)



市債の残高を他の政令指定都市と比較すると相模原市が一番低くなっています。ただし、市債残高は、年々増加していますので、今後も適切な市債発行に努める必要があります。

※市民一人あたりの市債残高の比較については、他の団体との比較のため、普通会計における政令指定都市の調査の数値から作成しています。

# 健全財政に向けた 主な取り組み

相模原市では現在の健全な財政を将来にわたり維持するため、いろいろな取り組みを進めています。

相模原市は、現時点では財政的に健全といえる状態ですが、市債残高は横ばいから増加傾向、財政調整基金の残高も減少しているしており、将来への課題がないわけではありません。そこで、将来にわたっても引き続き健全な財政を維持するために、市ではさまざまな取り組みを進めています。



## 行財政改革の断行

市民と行政が一体となって継続的・計画的に都市経営に取り組むため、平成17年度にさがみはら都市経営ビジョンを策定しましたが、着実に推進するため具体的な取り組みを掲げたアクションプランを定めています。

さがみはら都市経営ビジョン 平成17年度策定 ⇨ 具体的な行動計画としてアクションプランを策定

期	年度	項目	効果額	主な行動計画
第1期	平成17~21年度	85項目を設定	約76億円	
第2期	平成22~24年度	72項目を設定	約8億円 (平成22年度分)	

**主な行動計画**

- 職員定数削減
- 国保特会の健全化
- 事務事業の見直し
- 低未利用資産の処分
- 市税等の収納率向上
- 補助金の見直しなど
- 民間委託の推進

## 市債発行の上限設定 (借入れできる上限額の自主規制)

将来負担比率や実質公債費比率などについては、国の基準でいろいろな規制がありますが、市の借金について借入額を直接規制するものではありません。そこで相模原市では借入額に関する自主的なルールを作って健全財政の維持に努めています。

年度	目標	実績	達成状況
平成17~21年度	5年間の発行総額 800億円以内	798億円	達成
平成22年度	1年間の発行総額 320億円以内 実質公債費比率 8%以下	278億円 約4.3%	達成
平成23~25年度	3年間の発行総額 1,000億円以内 実質公債費比率 8%以下		

## 収入未済額の減少に向けた取り組み

「相模原市債権の管理に関する条例」を制定し、平成24年4月1日に施行しました。

市では、納期限を経過しても納付されない債権について、滞納者の方に納付を促すため様々な措置を講じていますが、収入未済額は年々増加している状況です。

この条例は、負担の公平性の確保と債権管理の適正化を図るため、強制執行などの徴収手続きや回収不能となった債権の取扱いなどの事務処理の基準を定めています。

# 「宝くじ」って実はすごい!!

宝くじ  
情報

Q. 宝くじってどこで買っても同じ?

A. 宝くじが当たる確率は、どの売り場で買っても同じだよo(\*^\_^\*)o  
でも、売上げの一部が、県や市にも収益金として配分されて、身近な市内の事業に役立てられているんだ。収益金は、相模原市内での売上げに応じて配分されるルールなんだ!  
だから、みんなが**市内で宝くじを買ってくれると**、相模原市の収益金も増えるから、**みんないいことづくめなんだ!**



市内で買えば、  
市民のために  
役立てられるんだ!!

相模原市内で、  
平成24年度の  
ドリームジャンボの1等  
も出たんだよ!



# 寄附で、あなたも 市政に参加してみませんか!

新制度

「暮らし潤いさがみはら寄附金」制度のご案内

**ポイント1** 寄附金は、あなたが  
**指定した事業に活用されます!**  
市の事業のうち幅広いメニューから使い道を選択いただけます。

**ポイント2** しかも、2,000円を超える部分は  
**税金が差し引かれます! (上限があります)**  
つまり、税金の使い道を指定するのと同様の効果があります。  
※税控除を受けるには確定申告が必要です。

詳しくは市ホームページ、パンフレットをご覧ください。か、市財務課まで。

こと はじめ

# ～『予算事始』の作成にあたって～

江戸時代の中期、「この本を翻訳することができれば、日本の学問を変えることができる」という高い理想と信念を持ち、オランダ語で書かれた解剖学の本の翻訳を、頼るべき辞書も無いまま手探りで取り組んだ初期の蘭学者（オランダ語で西洋の学問を学ぶ者）の苦勞が書かれている『蘭学事始』という書物をご存知でしょうか？



「予算」は、市民の皆さんに納めていただいている税金などがどのように使われるのかをまとめたもので、市民生活に密接に関わっています。また、「財政の健全化」とか「財政破たん」などという言葉もしばしば耳にされるとと思いますが、自分の暮らすまちの財政が健全に運営されているかどうかは、まさに、市民生活に大きな影響を及ぼす重要事項です。

一方、専門用語や仕組みの複雑さなどから、市民の皆さんに予算や財政の中身を分かりやすく説明することはなかなか難しいことですが、相模原市の予算や財政状況を分かりやすく解説し、関心を持っていただくことによって、相模原が変わっていく、そんな思いをこめてこのパンフレットを『予算事始』と名づけました。

『予算事始』を読んでいただいて、一人でも多くの皆さんに「予算が身近になった」「相模原市の財政に興味をもった」と感じていただければ幸いです。



相模原市の予算や財政に関する詳しい情報は市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.sagamihara.kanagawa.jp/>

[トップページ]⇒[市政情報]⇒[市の財政]からアクセスしてください。

## 相模原事務用品協同組合

相模原事務用品協同組合 代表理事  
尾作 晃

(有)オオヌマ 042-778-4290
菊屋浦上商事(株) 042-754-9211
(有)橋南堂 042-772-2408
久米文具店 042-754-6560
越路屋 042-742-7773
昭文堂 042-762-1532

田井興業(有) 042-752-4997
(株)敏正堂 042-685-1511
福文堂 042-784-0136
(株)文盛堂 042-752-2303
(株)宝月堂文具店 042-752-2083
(株)ミリオン事務機器 042-784-3856

(有)山本書店 042-784-0016
(株)洋文堂 042-730-3421
(有)渡邊文相堂 042-761-5518
文具のホソノ 042-782-1384
(株)プロワーク 042-730-5251

事務局 ▶ 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3 (商工会館内) TEL 042 (750) 2838 FAX 042 (750) 2855

URL:<http://www.e-jimu.jp>

e-mail:kumiai@e~jimu.jp



# SOIN

相模原市印刷広告協同組合

プロ集団  
26社

印刷・広告受注、地域情報紙印刷配布、  
市民まつりパンフレット・暮らしのガイド (ナイスガイドさがみはら) 作成  
街美化アダプト制度の活動、PTA・公民館広報誌講習会 (年1回開催) 等

相模原市印刷広告協同組合代表理事 長田 功

〒252-0239 相模原市中央区中央3-7-5 ☎042(776)6100 ☎042(776)5656 <http://www.soin.or.jp/>

変わらない絆。共に。未来へ。  
**八千代銀行**

相模原法人営業部 / 淵野辺支店 / 相模原支店  
 南淵野辺支店 / 上溝支店 / 田名支店 / 千代田出張所  
 相模台支店 / 相模大野支店 / 大沼支店 / 東林間支店  
 古淵支店 / 橋本支店 / 二本松支店 / 城山支店



Bank of Yokohama

Afresh

あなたに、あたらしく。

お客さま一人ひとりに、  
 最もふさわしい金融サービスとの出会いを、  
 あたらしく創りあげていきます。

横浜銀行